

山神運輸工業株式会社

2023年度

環境経営レポート

(2023年7月から2024年2月の活動結果)

2023年度は対象期間を会社の事業年度に合わせ2023年7月から2024年2月に変更した



発行日付：2024年4月15日

NO17号

山神運輸工業株式会社の環境経営方針

<基本理念>

山神運輸工業株式会社は『運送業及び建設業』における事業活動において、全従業員が地球環境の保全が大切であること、環境保全は自らが行動を起こすことを認識し、全社員で下記の重点活動分野に取り組み、環境経営の推進を図ります。

<重点活動分野>

1. 経営における課題とチャンス及び事業活動から生じる環境負荷の低減にむけて次の重点活動テーマに取り組みます。

- ①運送燃費の向上による二酸化炭素排出量の削減
- ②運送効率の向上
- ③車両事故発生のゼロ
- ④環境適合車両の導入
- ⑤働き方環境の改善（時間外労働時間の削減）

- 2. 厳しくなる運送事業の仕事環境の改善に向けて長期的視野で取り組みます。
- 3. 環境経営マネジメントシステムを構築し、継続的改善と汚染の予防を図ります。
- 4. 環境関連法規、規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 5. 環境経営目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷の低減を図ります
- 6. 環境経営活動を「環境経営レポート」にまとめて社会一般に開示します。

制定日：2008年10月1日

改訂日：2019年7月1日

山神運輸工業株式会社

代表取締役社長 山野 英二



1. 登録事業者の概要

弊社は、これまでお客様のニーズに応じて時代の変化を先取りする物流を目指して取り組んでまいりました。物流のニーズは時代と共に変化しそのうねりの中で、いち早く物流トータルシステムを導入しコンピューターによる全品管理また、全製品の統一管理などシステム的に行い、原材料から消費者までの物流を多面的に捉え、サードパーティーロジスティクス化によって陸上輸送、倉庫業務を一元管理することによって、お客様の信頼を得るよう努めています。また弊社は、建設業の機械器具設置工事業の免許を取得し、半導体業界各お客様の新設工場ラインの据付工事等シェアのトップを走っております。引越業務も全国的にサービスを提供しており、品質管理、納期管理、安全の向上を経営基本とし推進してまいりました。更にこれからの事業継続には環境への配慮が経営の重要な課題の一つとして捉え、[エコアクション21]のマネジメントシステムを機軸とした環境経営を推進することで社会貢献していく所存です。今後ともお客様のご要望に適した物流業務の充実を図り、皆様のご要望に十分お応えできるよう、社員一同努力してまいります。

● 事業者名及び代表者名

山神運輸工業株式会社 代表取締役社長 山野英二

● 本社所在地 (取り組みの対象組織)

〒231-0005神奈川県横浜市中区本町4-43 TEL:045-264-6018(代)

・横浜支店

〒236-0003神奈川県横浜市金沢区幸浦2-8-1

・藤沢支店

〒251-8551神奈川県藤沢市宮前100-1

・秦野支店

〒257-0015神奈川県秦野市平沢273

・船橋支店

〒272-0002千葉県市川市二俣新町17

・中部支店

〒441-3114愛知県豊橋市三弥町字元屋敷150

・神戸支店

〒674-0065兵庫県明石市大久保町西島438-1



● 事業の内容 (取り組みの対象活動)

一般貨物自動車運送事業、第一種利用運送事業、倉庫業、産業機械の調整設置

● 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:登地 仁 (連絡先)事務局:登地 仁

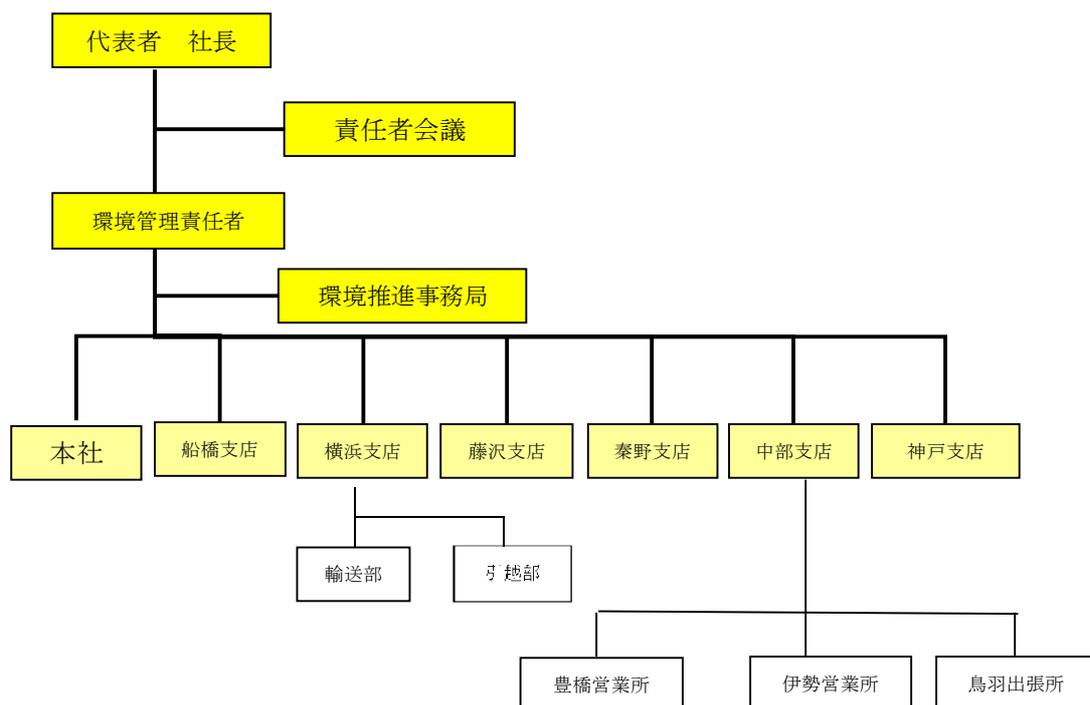
TEL:045-264-6018 FAX:045-264-8382

● 事業の規模 (直近3カ年)

	※2021年度	2022年度	2023年度
売上	1,565百万円	2,309百万円	2,226百万円
従業員数	89名	89名	91名
貨物自動車保有台数	48台	48台	47台
床面積	893㎡	893㎡	893㎡

※ 2021年度は決算期変更に伴い、2021年7月～2022年2月(8ヶ月分)

2. 山神運輸工業(株)の環境組織図



3. 主な環境負荷の実績

環境目標項目	単位	2021	2022	2023
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,195,563	2,026,181	1,356,508
電気使用量	kwh	80,191	77,339	52,096
ガソリン購入量	L	20,053	17,423	12,107
軽油購入量	L	759,150	755,544	505,637
グリーン購入 低公害車の導入	台	5	4	1
産業廃棄物総排出量	KG	68,371	41,460	28,660
一般廃棄物総排出量削減	KG	1,468	636	438
総排水量	m ³	618	471	361
走行距離当り二酸化炭素排出量(軽油)	Kg-CO ₂ /km	1	1	1
リッター当り走行距離(軽油)	km/ℓ	4	4	4

二酸化炭素排出係数は 東京電力管内0.468、中部電力管内0.457、関西電力管内0.352を使用した。
2023年度については、集計期間の変更を行っております。(2023年7月～2024年2月)

4. 環境経営目標の中期計画(3年)

環境目標項目	単位	基準値	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	2,026,181	2,025,000	2,020,000	2,015,000
電気使用量	kwh	77,339	77,000	76,500	76,000
軽油使用量	ℓ	755,544	750,000	740,000	735,000
ガソリン使用量	ℓ	17,423	17,000	16,600	16,300
輸送効率の向上	指数	146	147	148	150
働き方環境の改善(時間外労働の削減)	時間	80時間/月	達成率90%	達成率95%	達成率100%
働き方環境の改善(拘束時間の削減)	時間	284時間/月	達成率85%	達成率90%	達成率95%
コンプライアンスの遵守活動					
無事故の達成	件	0	0	0	0

※化学物質削減の取り組みは、当社の業務に化学物質を取り扱う業務が無いため取り上げない

※基準値は2022年実績値とした

5. 今年度(2023年度)環境目標・計画と実績

環境目標項目	単位		2023年度	
			年間	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標	1,500,000	○
		実績	1,356,508	
電気使用量	Kwh	目標	56,667	○
		実績	52,096	
輸送燃費の向上	指数売上/ℓ	目標	580	○
		実績	591	
輸送効率の向上	指数売上/km	目標	140	○
		実績	146	
一般廃棄物総排出量	Kg	目標	636	○
		実績	438	
産業廃棄物総排出量	Kg	目標	41,460	○
		実績	28,660	
節水	m ³	目標	471	○
		実績	361	
低公害車導入	台	目標	1台	○
		実績	1台	
無事故の達成	件	目標	-	○
		実績	-	

2023年度(2023年7月~2024年2月)

判定基準: ○→達成 △→概ね80%以上達成 ×→未達

6. 主な環境活動内容と取組み結果の評価及び次年度の取組み

活動内容	判定	結果の評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量削減 1. 空調設定温度の徹底 2. エコドライブの推進	○	1. 電力使用量削減: 節電意識は かなり定着してきた。前年度比 3.6%削減できた。 2. 軽油については、効率的な使用 の観点から指数管理を行い効率的 利用に努める。前年度とほぼ同様 の数値で推移した。 3. ガソリン使用量削減: エコライ ブ意識も定着し順調に推移してい る。	1. 軽油: 車両毎の管理を継続し、判定の 精度アップに取り組む。 2. ガソリン: 低燃費車両への代替を推進 する。 3、 集計業務のIT化を推進し、さらなる合理化 を図る
廃棄物排出量削減 1. 分別回収の徹底 2. リサイクルの徹底	○	全般的に分別がしっかりできている。 リサイクルの徹底も図られてきた。 産業廃棄物の分別も出来ている。	運用管理し維持に努める。
総排水量削減 1. 節水意識の向上	○	節水意識も定着し、順調に推移し ている。	運用管理し維持に努める。
無事故の達成	○	無事故達成できた	一方通行の安全指導ではなく、ドライバー 自身で考え、気づき与えることにより安全 意識のレベルアップに取り組む。
走行距離当り二酸化炭素 排出量削減(軽油)	○	輸送効率が順調に改善されてい る。	引き続き燃費の向上と、輸送効率向上に 努める。
働き方環境の改善 時間外労働時間の削減		—	2024年4月より、自動車運転の業務に 時間外労働時間の上限規制が適用。 年間960時間以内の遵守
働き方環境の改善 運転職の拘束時間削減		—	2024年4月より、自動車運転者の 「改善基準告示」の改正が適用。 拘束時間の年間3,300時間以内遵守
コンプライアンス遵守活動		—	・就業規則、各種規程等の整備と見直し ・「改善基準告示」各項目の遵守状況の チェックに取り組む。

判定基準: ○→達成 △→概ね80%以上達成 ×→未達

□環境管理責任者のコメント

基本的な環境活動については、定着が図られてきているので、次年度からは働き方環境の改善及び
全般的なコンプライアンス遵守活動を中心に、2024年問題に対応する管理体制を構築し
活動を推進してまいります。

7. 遵守評価の結果

事業活動に伴う環境関連法令の遵守状況は下記の通りです。

評価:○→確認済み □→評価したが課題がある

適用法令等	遵守すべき内容	実施確認	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染防止法 ・ 東京都環境確保条例 ・ 神奈川県環境保全条例 ・ 横浜市 // ・ 千葉県 // ・ 名古屋市 // ・ 大阪府 // ・ 兵庫県 // 	自動車の排出ガスの抑制(努力義務)	エコドライブの徹底を朝礼、安全会議で確認した。車両の法定点検実施	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の負担及び廃車時に登録業者に引渡す	引き取り業者にリサイクル料金を支払い引き渡した。	○
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・分別廃棄の徹底 ・処理・処分を外部委託する場合 契約 ・マニフェスト伝票の発行管理及び・返却期限管理(A票保管、B1票90日、D2票90日、E票180日) ・産業廃棄物処理交付票のまとめを知事に報告(7月3日) ・廃棄物保管場所の表示 	廃棄物管理台帳で確認した。(横浜支店)	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・指定数量の1/5以上は届出 ・危険物保管管理(火気厳禁) 	石油保管量が規定以下であることを確認。	○
フロン排出抑制法	該当する空調機器の確認	該当機器については点検を実施	○

上記の通り、当社の事業に関わる環境関連法令は一覧表に基づき全て確認・評価を実施済みです。

また、環境関連法規の違反は、ありませんでした。関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。また訴訟もありません。近隣からの苦情もありません。

8. 全体評価と見直しの結果

環境活動に関する経営者のレビューを実施いたしました。レビュー結果の必要性等について下表にまとめました。

レビュー実施日		2024年2月26日	
レビュー者		代表者:代表取締役社長 山野 英二	
レビューの結果	環境方針	必要: <input checked="" type="radio"/> なし	ヒガシ21グループ会社になり、親会社の方針を踏まえてシステム全般を適合するように見直すこと。
	環境目標	<input checked="" type="radio"/> 必要: なし	2024年問題に対応するため、次年度からは働き方環境の改善について取組を更に進める。
	環境活動計画	<input checked="" type="radio"/> 必要: なし	会社の業績に関わる課題に取り組むこと。
	代表者のコメント	2024年4月から運転職の時間外労働の上限規制が始まり、同時に「改善基準告示」の改正が適用される。従ってIT機器の活用等により、労務管理の改善を推進すること。また、全般的なコンプライアンス遵守活動により、健全な事業活動に取り組むこと。	